

株式会社クボプラ

# DX戦略

2024年5月15日



代表取締役 久保 安宏

# 1. DX取組宣言

株式会社クボプラは、プラスチック加工のプロフェッショナルとして創業よりこれまで60年弱、時代のニーズに合わせた設備投資や技術力向上に注力し、東京青梅でプラスチック加工業を展開してきました。

昨今の円安によって、プラスチック材料や電気料、人件費の値上がりが続き、利益を圧迫しています。今後、日本の少子化は進んでいきますが、半導体製造やEVなどは進んでいき、プラスチック加工の需要は伸びていくことが予想されます。また、プラスチック製品は、金属などに比べて軽い、加工が容易、電気・熱を通しにくい、衛生的などの特長があり、日用品、文具、玩具、家電や住宅、乗り物、医療分野などさまざまな用途で利用され、今後も適用分野は必ず広がっていくと考えられます。

このような状況で大事なことは、DXを進め徹底的に生産性を上げ、国内で生き残るべく多岐にわたるご要望に迅速にかつ的確にお応えできる土壌を耕しておくことです。

当社は、今後ますます多様になってゆくニーズに对应してゆくためにも、積極的なデジタル技術（FA：ファクトリー、オートメーション、3D設計、VR等）やデータの活用、新素材へのチャレンジによって、自動化を進め、生産性を上げてゆくことが重要だと考えています。また、プラスチック再利用や有効利用ニーズは高まっていくと考えられるため、CSR（社会的責任）にも配慮した製品開発への挑戦も進めてまいります。

クボプラは、これからも時代の変遷に、情熱と技術力でチャレンジし続けます。

株式会社クボプラ  
代表取締役 久保 安宏

## 2. 経営理念、経営ビジョン

### <経営理念>

私たちクボプラは「挑戦による進化」を合言葉に、チャレンジ精神を大切にし、常にプラスチックの新たな技術やイノベーションに挑戦し続けます。

奥多摩の雄大な山々、多摩川の清流、虫に囲まれる豊かな自然の中で邁進する企業として、環境に配慮した持続可能な製品開発やプロセス改善に積極的に取り組む傍ら、お客様により深く喜び感動していただける製品とサービスを提供するべく、たゆまぬ努力を続けてゆきます。

### <経営ビジョン>

クボプラは、積極的な挑戦の精神と最新の技術（素材、加工技術、設備、設計手法）を活用し、デジタル技術を駆使して、技術力と生産性を向上させながら新たな事業展開を進めます。我々の長年のノウハウと、精力的に行ってきた設備投資によるリソースを活かし、幅広いニーズに素早く対応してゆく中で、客観的なデータに基づいて確固たる基準を設定し、その目標に向かってチーム全員で新技術や新たなビジネスに取り組み、顧客、地域、そして社会に貢献する企業を目指します。

### 3. DX戦略

株式会社クボプラは、経営ビジョンやビジネスモデルを実現するために以下のDX戦略を制定しました。全社一丸となって、DXを推進していきます。

#### 戦略①デジタル機器活用による生産性向上

- ・ AI技術や移動式協働ロボット(AMR)、 MT LINKiの導入によるスマートファクトリー化（省人化、自動化）
- ・ 顧客DB構築やデジタル見積・段取り指示システムの導入による生産性向上
- ・ 多言語対応デジタルマニュアルの導入による技術力の向上

#### 戦略②社内情報の共有化

- ・ 社内ポータルサイトを構築し必要な情報を共有することによる、営業、見積、受注、出荷、納品、請求、財務等の間接業務の生産性向上

#### 戦略③脱炭素（GX：グリーントランスフォーメーション）の取組

- ・ 脱炭素対応の**新素材**（生分解性プラスチック等）への取組
- ・ 樹脂加工、部品の集約、工法の変更による脱炭素への取組

#### 戦略④新規顧客獲得

- ・ SNSを活用したDX活動の情報発信によるブランド価値の向上
- ・ 異業種（医療、半導体、EV等）への進出、展示会出展

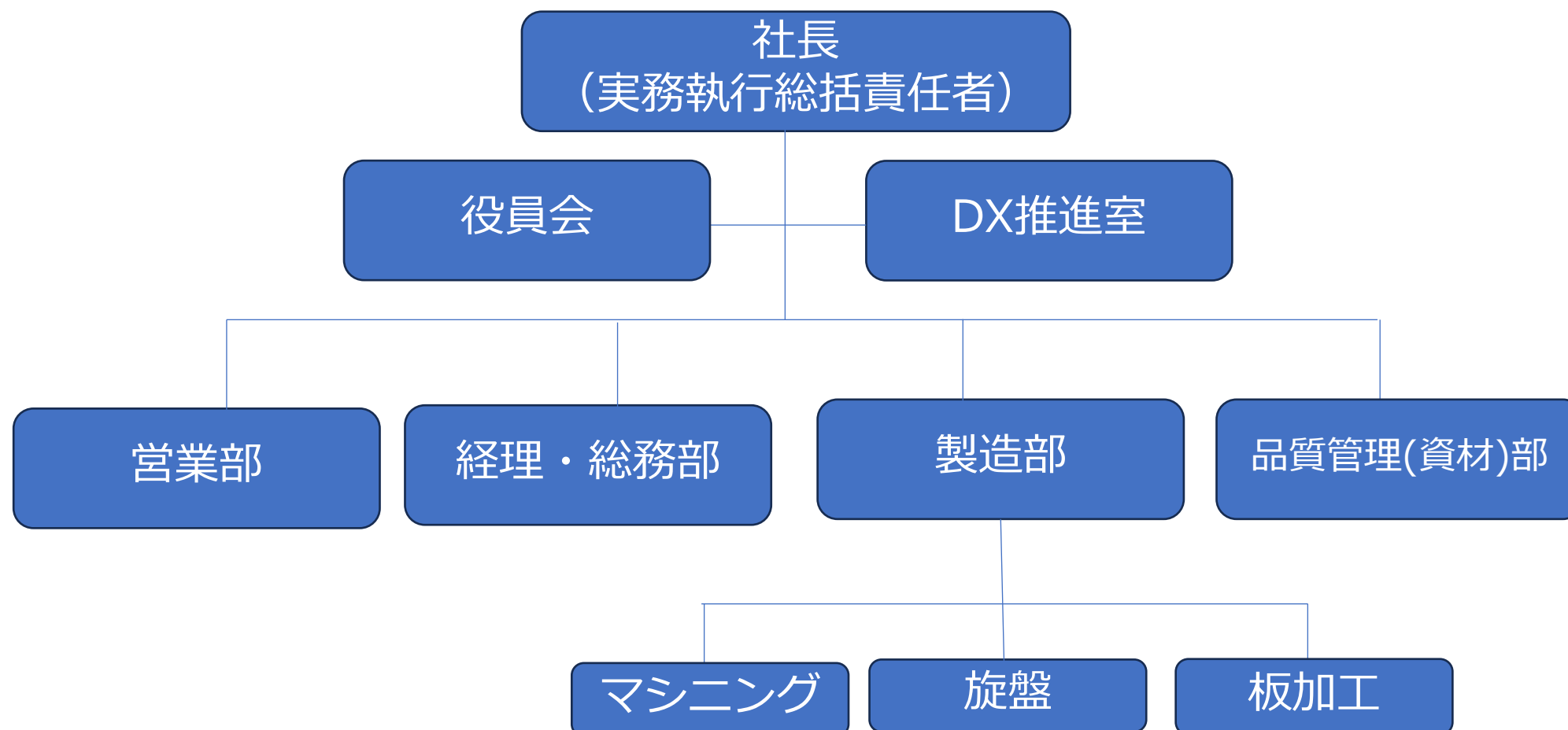
#### 戦略⑤デジタル人材

- ・ CAD講習会等の実施による社内導入システムの習熟度向上
- ・ ITサポート等各種資格取得支援

## 4. DX推進体制及びデジタル人材育成

株式会社クボプラは、社長(実務執行統括責任者)を中心として「DX推進室」を設置し、DX戦略の実現及びデジタル人材の育成を推進します。

DX推進室では会議の場を定期的に設け、各部門及び全社で取り組む計画について進捗と今後の方針を報告・提案し合いながら運営してゆきます。



## 5. デジタル技術、環境整備

株式会社クボプラは、DX戦略を実現するために、毎年売り上げの1%を投資し、既存システムの定期的な見直しや新規システムの導入検討を行いながら、DX推進の環境整備を進めます。

### <既存システム>

- 自社独自の業務管理・会計管理システム

- マシニングセンター

- FANUC MT-LINKi

- <新規システム>

- OCRソフトウェア/RPA業務自動化ツール

- デジタルマニュアル/作業手順書作成ソフトウェア

- 移動式協働ロボット(AMR)

- デジタル見積・デジタル段取り・簡易段取りシステム (MAZATROL DX)



## 6. 推進目標（KPI）

株式会社クボプラは、DX戦略の推進を着実に進めていくために、下記のような推進目標（KPI）を設定し、PDCAを回しながらスパイラルアップしてゆきます。

DX戦略	取り組み内容	時期	目標値
戦略① デジタル機器活用による 生産性向上	スマートファクトリーの実現（省人化・自動化） 各製造工程の一元管理・可視化 （MT LINKi/顧客DB）	2026年までに 各製造工程の進捗状況一元管理及び部門横断的情報連携	機械稼働率を50%にする
	工場内運営のIoTの導入によるデジタル化 （各機械設備の遠隔監視、自動データ入力、データ活用、需要予測）	2030年までに 工場内のIOT化の推進、移動式協働ロボットの導入	2030年までに各機械設備の遠隔監視と自動データ入力を全体の80%達成
戦略② 社内情報の共有化	社内ポータルサイトの構築による営業、見積、受注、出荷、納品、請求、財務等の間接業務の生産性向上 営業と製造と事務の情報共有	2030年までに 社内ポータルサイトを構築し必要な情報を共有する	社内ポータルの構築・運用 規定した社内情報の100%共有
戦略③ 脱炭素（GX：グリーン トランスフォーメーション）の取組	<b>新素材</b> （バイオマスプラスチック/生分解性プラスチック） 樹脂加工の導入、部品の集約、工法の変更による脱炭素への取組	2027年までに新素材の導入	脱炭素の取り組みに適する新素材を3件導入する
戦略④ 新規顧客獲得	SNSを活用したDX活動の情報発信によるブランド価値の向上 異業種への進出、展示会出展 （医療、半導体、EV等）	2027年までに 異業種展示会への出展	年1回出展する
戦略⑤ デジタル人材の育成	ITパスポート等各種資格取得支援 CAD講習会等の実施による社内導入システムの習熟度向上	2026年までITパスポート等各種IT資格取得にかかる費用を会社として投資 CAD講習会を定期的を開催	デジタル人材（ITパスポート合格者）3名以上の育成

## 8. 社長メッセージ

### ～さらなる飛躍を目ざして～

株式会社クボプラの久保安宏です。私は、これまでの人生を"チャレンジ"という言葉  
を胸に歩んできました。クボプラも、先代社長から受け継いだ"挑戦"の精神をモットー  
に、創業以来60年間、絶えず成長と革新を遂げてきました。

私たちが目指すのは、単にお客様に満足して頂くだけではない、お客様に感動してい  
ただけるようなサービスを提供することです。そのために、デジタル技術力の向上はもち  
ろん、データ活用による創造力や想像力を駆使し、お客様がまだ気づかないニーズに  
も先取りして応えることを目指し、DX戦略をまとめました。

また、現在準備中の島根県新工場も来年には本格稼働し、全国規模でのお仕事を承っ  
てゆく予定です。雇用や企業活動を通して地域と密接に関わり、地方創生の一助を担う、  
環境にも人にも優しい次世代の企業になっていきたいと願っています。

これからもクボプラは、“挑戦”と“革新”をキーワードに、未来への大胆な一歩を踏み  
出し続けます。私たちは、お客様と共に新たな飛躍を目指してまいります。

株式会社クボプラ  
代表取締役 久保 安宏